

**美濃白川**  
白川町観光協会  
TEL.0574-72-1311  
<http://www.kankou.town.shirakawa.gifu.jp>

せらぎの里 美濃白川  
ふるさと体験村  
加茂郡白川町下佐 3672-9  
TEL(0574)76-2386  
<http://www.town.shirakawa.gifu.jp/>

美濃白川アウトドアリゾート  
フオーレの里  
岐阜県加茂郡白川町和泉181-1  
TEL0574-72-2462(FAX72-2189)  
道の駅 清流白川フオーレの里

魚は友だち、川はみんなの宝物  
飛騨川漁業協同組合  
岐阜県加茂郡白川町/東6983-6  
TEL(0574)72-1029-FAX72-1565  
<http://www.hidagawa.com/>

健全で豊かな森林づくりを  
目指しています!  
白川町森林組合  
<http://www.s-shirakawa.or.jp/>  
岐阜県加茂郡白川町三川1385-1  
TEL(0574)72-1077 FAX72-2531

東濃検閲専門市売  
入札正午より  
市日・隔週水曜日  
東濃ヒノキ白川市場  
理事長 加藤 一昭  
白川町三川1399-3  
TEL(0574)72-2345 (代)・FAX72-2520

美濃白川 マルシェ  
Medioshira Marche  
〒509-1105 岐阜県加茂郡白川町和泉1674  
TEL 0574-72-1205  
FAX 0574-72-2405  
<http://www.gifushok.or.jp/minoshirakawa/>

ときどき庵カフェ  
岐阜県加茂郡白川町和泉719 TEL0574-72-1101

美濃白川茶  
白川茶農業協同組合連合会  
美濃白川茶流通センター  
岐阜県加茂郡白川町和泉/東5231-2  
TEL(0574)75-2241 FAX75-2240  
<http://mino-shirakawacha.jp>

**洞雲寺**  
古くより和泉田代村に、庵寺としてあり、嘉吉3年(1443)将軍利義公より寺に多くの土地が寄進される。康正元年(1456)知庵院が開山となる。文明18年(1486)知庵院より交互住持を派遣される。相模木家三代目木曾勘次郎が開基となり、洞雲寺を完成する。慶長9年(1578)本寺開元院十世信賢の和泉大和が中興開山となり、大龍堂を完成した。

**パイオルガン**  
白川町民会館のグロリアホールには、オルガン建築家、故江原氏製作したパイオルガンが設置されています。パイオルガンは「楽器の王様」と言われています。白川町は「パイオルガンのまち」として知られ、まちの人にとって身近な楽器として親しまれています。写真は要子約

**船の友釣り**  
急流のため川床が白く美しい白川。花崗岩が多く茶みがかって見える赤川。黒みがかった岩が多い黒川。東濃五色川の名を持つ3つの川は、いずれも飛騨川の支流です。さらに佐見川も飛騨川に注ぎ飛騨川本流と合わせて五つの川になります。六月中旬になると船の友釣りが解禁となり、太公望が賑わいます。

**東濃ひのき**  
「東濃ひのき」とは、主に岐阜県加茂郡、恵那地域を中心とした東濃地方で産出されているひのきのブランドです。当地の恵まれた地質と気候風土によって育ったひのきは、薄緑色の色、独特の香り、木目の美しさ、艶やかなりばさなど、数多くの特色を備えています。強度も強いことから、住宅用資材としても使われています。

**東濃ヒノキ白川市場**  
高性能林業機械を使った搬出機伐作業

**東濃ヒノキ白川市場**  
東濃ヒノキ白川市場(仮)

**小野津島神社 天王桜**  
大正15年(1926)に県の保存木に指定された樹齢約250年の古木。ヒガンザクラの一種で、真っ白な花を咲かせて春の訪れを告げます。平成7年(1995)に「天王桜」と命名されました。

**薬研洞の大ナラ**  
県の天然記念物に指定されている大ナラ。ニッソ山の山頂から西南に約1kmの場所にあり、高さは約25m、幹の太さは約6.9mの巨樹として知られ、樹齢推定は1種、全樹で2層目の大きさといわれています。

**野原城址**  
天正元年(1573)、東濃制覇をめざす苗木山氏に攻められ陥落した城の跡。ここからの眺めは一面の田舎あり、野原城主、安江光重の墓は、大白山神社中興の祖としても知られ、安江氏繁栄の礎を築きました。

**野原城址**  
天正元年(1573)、東濃制覇をめざす苗木山氏に攻められ陥落した城の跡。ここからの眺めは一面の田舎あり、野原城主、安江光重の墓は、大白山神社中興の祖としても知られ、安江氏繁栄の礎を築きました。

**野原城址**  
天正元年(1573)、東濃制覇をめざす苗木山氏に攻められ陥落した城の跡。ここからの眺めは一面の田舎あり、野原城主、安江光重の墓は、大白山神社中興の祖としても知られ、安江氏繁栄の礎を築きました。

**野原城址**  
天正元年(1573)、東濃制覇をめざす苗木山氏に攻められ陥落した城の跡。ここからの眺めは一面の田舎あり、野原城主、安江光重の墓は、大白山神社中興の祖としても知られ、安江氏繁栄の礎を築きました。

**手もみ茶**  
白川町の伝統文化である手もみ茶は、戦後の機械化の流れで、だんだんと姿を消してしまいましたが、手もみ保存会がその技術と味を今に伝えています。

**美濃白川茶**  
お茶栽培の北限とも言われる山間地帯で栽培されており、その歴史は古く、白山神社を創立した泰海大師が養老年間(西暦720年頃)に初めて栽培法を伝えたとも言われています。適度な湿度と日照条件、そして昼夜の激しい温度差という、お茶作には絶好の環境にある白川町。この地で栽培された美濃白川茶はその深い味わいに定評があり、日本有数の銘茶として広く知られています。

**美濃白川茶茶畑**  
飛騨川とその支流に沿った傾斜地に広がる茶園は、国内の生産地では北限に位置し、海拔も200〜700mと高い。昼夜の温度差が大きくなります。この高地特有の気候が、お茶の新芽をゆっくりと育み、加えて、近くを流れる飛騨川とその支流が立ちこめる朝霧が葉を潤すことで香り高く深みのあるお茶となります。

**天心白菊の塔**  
昭和3年(1908)8月17日夜半から翌未明にかけ、中濃地方を襲った大雨のため、国道41号線上で遊覧していた観光バスが、山崩れに巻き込まれ土崩れに押し流され、激流渦巻く飛騨川に転落水没しました。この惨劇を奪われた104名の魂と、同じ豪雨災害のため、この地方で亡くなった14名の魂を慰むために、全国からの浄財で建立された鎮魂の塔です。

**土土遺産 白川橋**  
JR高山線の新設工事により、白川口駅が開業した大正15年(1926)に完成した鋼製の吊り橋です。木材が木材からコンクリートになった以外、100年以上の歴史を誇る。その歴史を伝えるには、当時の国産技術の高さを証明しているといえます。平成18年(2006)には、その歴史的価値から(社)土木学会より土木遺産として認定を受けました。

**岡本一平句碑 漫排**  
日本漢詩界の文豪岡本一平氏が1945年白川町へ移住。現在中に17文字の新たな文章「漫排」を提唱し、今もこの地で継承されています。夫人の岡本かの子は作家として、息子の岡本太郎は日本を代表する芸術家として有名です。

**内祭用神棚製造販売 有限和泉産業**  
加茂郡白川町河原1024-1  
TEL(0574)72-2133・FAX72-2728  
<http://www.kamidana.com>

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**安産神社**  
安産神社の守護神といわれる帝釈天をお祀りする。この地域唯一の安産神社です。毎年2月の第4日曜日(例祭)が行われ、安産を願う町内外の妊婦さんが訪れます。

**二ツ森山山頂**  
山頂部の最高峰。西麓(標高1155m)白川町(標高1230m)と東麓(標高1230m)と両方に寄り添うようにそびえる。頂上の眺めは最高で、南アルプスや中央アルプスの山々が一望に下ります。途中にある薬研洞の大ナラは、県の天然記念物になっています。

**廣通寺の山門鐘楼**  
四世山法師和尚が再建した鐘楼で慶応3年(1867)12月に完工している。木造2階建瓦葺で入母屋千鳥破風造。建坪は13.2㎡である。白川町指定有形文化財。

**典豊会館 セレモニーホールかのひがし**  
〒509-1108 岐阜県加茂郡白川町和泉1232  
TEL/FAX0574-80-0035

**典豊会館 フューナラルみかわ**  
〒509-1113 岐阜県加茂郡白川町三川232  
TEL0574-74-1074 FAX0574-74-1075

**松川屋**  
白川町土産には松川屋のお菓子をどうぞ  
白川町黒川223-5  
TEL(0574)77-1264

**大雲山龍氣寺**  
加茂郡白川町井828-1  
TEL(0574)73-1592-FAX73-1562

**白川町観光協会**  
TEL.0574-72-1311  
<http://www.kankou.town.shirakawa.gifu.jp>

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。

**飛水峽**  
飛騨川の白川町から七宗町に至る約2kmの渓谷。長年、激流によって削られ、岩壁には滝穴(おつうつ)と呼ばれる形状の穴(おつうつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)「飛水峽の滝穴」として国の天然記念物に指定されました。また、飛水峽を含めた流域一帯は飛騨木曾川国定公園になっています。